



消防団員確保のために 協力と理解を広める広報を

片山裕治 議員

片山 消防団員は数の減少と高齢になってきており、昼間の消防団活動の人数が揃いにくく、消防積載車の出勤にも支障をきたす場合があると聞く。消防団員の確保のために氷川町として、消防団への協力と活動への理解を求め、広報をすべきではないか。

区長とも相談し人員確保に努力する

総務課長 仕事の都合で昼間地元を離れ町外で仕事をしている団員が増え、氷川町内で起こった事件の情報が得られない、夜



氷川町消防団員

公務災害保険に加入しているのか。

総務課長 他の市町村同様、消防団保償等組合とか公務災害等組合に加入しております。

勤で昼間の団活動に出るのが辛い、コミュニティの一員としての消防団への入団を敬遠するなど、人員確保に困窮している分団が多くなっているのも事実です。氷川町の消防団の定数640名は火災のみならず、風水害、地震、津波等の大規模災害の防衛等災害対応に必要な人員として今後も確保していく必要があります。又、地区の区長さんと協議しながら地域ぐるみで確保して頂くよう相談しています。

片山 消防団活動での費用弁償、災害時出勤した際に事故などがあった場合の補償はできているのか。

高校3年生までの 医療費無料化を

吉川義雄 議員



吉川 少子高齢化のなかで、本町は中学校卒業までの医療費が無料となり住民から大変喜ばれている。

県内の自治体では、子どもの医療費無料化を高校3年生まで引き上げるところも出てきた。芦北町は今年4月から高校生までの無料化に取り組みます。本町でも取り組んでほしいが、町長はどう考えているか。また、この制度は、窓口無料化が必要。子どもが病気にかった時にお金のことを気にしないで病院にけるようにすべきです。芦北



元気に授業する中学生

町も窓口無料化となっている。隣の八代市も窓口無料化に取り組みます。この窓口無料化をおこなえば、氷川町に住みたいという声が大きくなると思う。町長の施政方針にあるように少子化対策、定住対策の一環として医療費の窓口無料化をぜひ行ってほしい。

約700万円が必要 財源を念頭に考えたい

町長 氷川町では平成22年度から中学生までの医療費無料化をしたところ。子育て世帯のみならず、負担軽減では大変喜ばれていると認識しています。県内自治体では医療費無料化が取り組まれていますが、氷川町と一緒の中学校3年生までの無料化は20市町村です。芦北町は高校生までやるということ。私も担当

生ごみの堆肥化で ごみ減量を

課に指示し、高校生までの医療費無料化にどれだけ財源があるか試算をさせました。約700万円強必要になるとのことです。町の財源、限られた財源を念頭に置いて考えたいと思います。

窓口無料化は、これまで担当課とも協議を重ねてきました。確かに利用者みなさんは利便性が向上しますが、利用者が限られた範囲での制度であり、障害者医療などと同じように手続きを取ってやっていただきたいと考えています。

吉川 先日、議会でごみ減量化と生ごみの資源化について視察研修を行いました。一つは、有明広域行政事務組合が管理運営をしている「クリーンパークファイブ」分別収集の徹底とガス化溶融炉方式でゴミを処理しているところ。

もう一つは、福岡県大木町。大木町は生ごみを焼却するのではなく、資源として活用しています。生ごみを発酵させ、バイオ燃料や液肥にして再利用する循環型の処理を行っています。大木町は、人口約1万

4500人、世帯数約4500の町です。これまでに生ごみは隣接する自治体に処分を委託していましたが、この委託料がかさむことと焼却ごみの約4割が生ごみということに目をつけ、この生ごみを資源化しようと考えたことからの事業に取り組みしています。その結果、可燃ごみが約4割、不燃物が9割削減され、焼却委託費が200万円削減し尿処理は6300万円削減されています。

生ごみの堆肥化の取り組みを話されました。そこに至るまでの経過、歴史があると思いますが、堆肥化にするには施設が必要だし、取り組みを抜本的に変えなくてはなりません。可能性としては大いにあるので、今後模索していく必要があるかと思っています。

可能性は大いにある 今後模索していく

中心市街地整備基本計画は どうなっているが

片山 平成23年3月に氷川町中心市街地整備基本計画策定業務報告書が出来あがっているが、現在どうなっているのか。

計画に賛否があり内容を精査する

商工観光課長 昨年5月に町政懇談会において再整備計画を説明した際、計画内容について賛成、反対意見がいろいろ出ましたのでさらに内容を精査するというところで考えております。

片山 宮原地区中心市街地についての様な認識判断されているのか。

町長 歴史もございまして、やはり氷川町内の商業、商業の一番中心の地域であろうかと認識しておりますし、また国道3号線から東陽町、泉町あるいは五木村の玄関口という位置づけもできると認識しております。

商工会策定の中心市街地計画は

片山 旧宮原町の時に商工会では熊本県賑わいのある町づくり事業宮原中心市街地活性化基本計画を作成し町でも中心市街地基本計画、土地利用計画、住宅マスタープランを作成していますが計画についてどう思われますか。

商工会作成の計画書 勉強し横断したい

商工観光課長 住民マスタープラン・中心市街地の活性化計画と商工会で作られた計画について勉強させていただいて検討させていただければと考えております。

の購買力ができ活性化に繋がるので早く力を入れていただきたい。町長 商業施設ということですが、誰が、どんな資本でどういった形でやっていくのかが一番大切なところで目途もなく単にいわゆる施設を造るといったことはいかがなものかという思いがいたします。さらに精査いたします。



整備が急がれる中心市街地